

魂を揺さぶるフラメンコ、香り立つスペインの風

# 世界の民族音楽祭 福島

スペインよりフラメンコギタリストのリキ・リヴェラ、フラメンコ歌手マティアス・ロベス、フラメンコ舞踏家ベニート・ガルシア、国内外で年間200回以上の公演をこなすジブシー・ジャズスタイルのヴァイオリニスト平松加奈、パーカッショニスト海沼正利を迎え、魂を揺さぶるフラメンコを上演！ベニート・ガルシアフラメンコ舞踏団も加わり、香り立つスペインの風を感じることができます。

## 出演者プロフィール Profile

### リキ・リヴェラ

フラメンコギタリスト・作曲家

1979年カディス出身。9歳でホセ・エレラ・デ・カディスの下でギターを弾き始める。後に1996年から98年にかけてアンドレス・マルティネスと共に2枚のアルバムを録音。1999年から2000年にかけてカルメン・コルテス舞踊団にてヘラルド・ヌニェス、マルク・ミラルタ等と共演。また、フランスでの公演「DIME」の初演において、ハビエル・パロン舞踊団に参加。魔女の音楽フェスティバルにおいて、ラファエル・デ・ウルテラ、カルメン・ロサーノと共に参加。2001年セビリアのタブラオ「ロス・ガジョス」に出演し、後にホセ・アントニオ指揮下によるアンダルシアダンス舞踊団に参加し、アレハンドロ・グラナドス、イサベル・パジョン等と共演。また、ハビエル・ラ・トール舞踊団に所属し、セビリアのピエナル・デ・フラメンコにて「リンコネ・イ・コルタデージョ」を上演。さらに、同ピエナルにて若手コンクール部門で受賞したアンドレス・ペーニャとメルセデス・ルイス達の伴奏で活躍。その後歌手インディア・マルティネスの歌曲を多数作曲。2015年には、彼が作曲した、映画「El Niño」の主題歌「Niño sin miedo」でスペイン版アカデミー賞と呼ばれる「ゴヤ賞」オリジナル歌曲賞 (Mejor canción original) を受賞した。

Riki Rivera

### マティアス・ロベス

フラメンコ歌手

1985年バルセロナ出身。12歳よりアーティストの道を志し、19歳でJazzやフラメンコの歌手として多岐に渡った本格的な活動を開始する。共演したアーティストは数知れず、エスベランサ・フェルナンデス、ラファエル・ヒメネス・ファロ、エルベレ、ペペ・アビチュエラ、チャノ・ドミンゲス、ホルヘ・バルド、マノロ・マリン、クリスティーナ・オヨス、アントニオ・カナレレス、ドミンゴ・オルテガ、ホセミ・カルモナ、アルフォンソ・アロカ、ペレン・マジャ、エル・フンコ、マノロ・フランコ、ラ・モネータ、アンドレス・ペーニャ、ピラール・オガジャ、インマクラダ・オルテガ、ラファエル・デル・カルメン、オルガ・ペリセ、フアン・アントニオ・スアレス・カーノ、ラファエラ・カラスコ、セルヒオ・デ・ロベ、ペドロ・コルドバ、ミゲル・ペレス、マヌエル・リニャン、マルコ・フローレス、パストラ・ガルバン、ラファエル・カンバージョ、イスラエル・ガルバンのようないずれも名のあるアーティストが挙げられる。現在のフラメンコ界において、最も第一線で活躍しているアーティストのうちの1人である。

Matias Lopez

### ベニート・ガルシア

フラメンコ舞踏家

Benito Garcia

1977年、スペイン・コルドバ生まれ。7歳でフラメンコを始め、16歳でプロデビュー。同時に日本のフラメンコ界の第一人者である小松原庸子氏に認められ小松原庸子スペイン舞踊団員として来日。その後同舞踊団の公演に幾度となく出演する。また、スペインサッカーリーグ「リーガ・エスパニョーラ」開幕プロモーションビデオへの出演やスペイン王室ご用達ブランド「LOEWE」イベントライブ、東京ファッションウィークでのゲスト出演、TV朝日2時間ドラマのフラメンコシーン振付・指導、修善寺カントリークラブ・鎌倉パブリックゴルフ場リニューアルオープンイベント等踊り手・振付家としての活動は多岐にわたる。21歳の時より日本に定住、踊り手としてだけでなく後進の指導も始める。29歳の時に赤羽に自身のスタジオ「ベニート・ガルシア フラメンコアカデミー」を設立。今年2017年にはアカデミー10周年を迎え、舞踊団を率い生まれ故郷スペイン・コルドバでの凱旋公演を成功させた。現在現役の踊り手としてまた指導者として躍進中。

### 平松加奈 ヴァイオリニスト

ジブシー・ジャズスタイルの演奏でフラメンコ音楽やラテンジャズを中心に、国内外で年間200回以上の公演をこなす、ファンを魅了するヴァイオリニスト&コンポーザー。スペイン国立バレエ団のプリンスバルダンサーとして活躍していたアントニオ・アロンソの公演に2006年より参加し、2010年にはスペインフラメンコ界の巨匠、カンテのディエゴカラスコ、ギタリストの故モロイート チコと共演。2013年にはスペインの大スター、フラメンコダンサーのアントニオ・カナレレスと共演。この時には、自作曲を提供している。2017年、スペイン、アンダルシアのコルドバで、メスキータそばの野外ステージで行われたベニート・ガルシア舞踊団のフラメンコ公演にギタリストのリキ・リヴェラ、カンテのマティアス・ロベスと共に出演。2014年、NHKで放送された三谷幸喜脚本による人形劇「シャーロックホームズ」の劇伴音楽を全曲書き下ろし担当。数曲は、自身でフルオーケストラにアレンジしたものを、世界的指揮者、ダニエル・ハーディングとマラー・チェンバー・オーケストラが演奏。リーダーバンド「平松加奈 con Armada」[平松加奈 Special Project]の他フラメンコギター伊藤芳輝氏率いるバンド「スバニッシュコレクション」のメンバーとしても活躍。ビクター、ポリスター等メジャーレーベルから通算9枚のアルバムを発表。2009年にはNHK人形劇「新・三銃士」の音楽も全編担当する。

Kana Hiramatsu

### 海沼正利 パーカッショニスト

フリーのセッションミュージシャンとしてノンジャンルで活躍するマルチパーカッショニスト。リーダーグループ「Tumba Créole (トゥンバ クレオール)」をはじめ、アラブ琴カヌーン奏者3人による「Qanun.3 (カヌーン・スリー)」のリーダーを務めるなど多種多様なグループを主催し、その時々で様々な編成をとるノンジャンルの企画ライブ「Project Cal」も長く続ける。そのほかに、世界の民謡を奏でる「ORINOVIVO (オリノヴィヴォ)」の音楽監督を務めるなど、多数のグループにも在籍している。これまで伊藤多喜雄・サカス・ダ・カーポ・岡庭矢育などのサポートや、渡辺香津美・山本由也(人形師)・アントニオ・アロンソ・アントニオ・カナレレス(など国内外の多数のアーティストとも共演。2017年、スペイン、アンダルシアのコルドバで、メスキータそばの野外ステージで行われたベニート・ガルシア舞踊団のフラメンコ公演にギタリストのリキ・リヴェラ、カンテのマティアス・ロベスと共に出演。また「Masa」名義でのソロ活動や舞台作品も発表し、作・編曲、舞台音楽、演出も手掛けている。2004年より国際音楽療法専門学校にて打楽器講座を受け持つ。1998年、トゥンバ クレオール1stアルバム「Tumba Créole of JAPAN」リリース。2005年、ソロアルバム「o Primeiro passo」リリース。2015年、Qanun.3の1stアルバム「Nassam alayna el hawa」リリース。2017年、Qanun.3の2ndアルバム「Ya Rayah」リリース。海沼正利オフィシャルサイト: <http://www.office-batucada.net>

Masatoshi Kainuma

## モデレーター 三浦 尚之 福島市音楽文化総合アドバイザー

福島市生まれ。東京芸術大学音楽部卒業。昭和41年フルブライト奨学生として渡米。ニューヨーク市ジュリアード音楽院博士課程にて学ぶ。昭和50年、ミュージック・フロム・ジャパン社を創設。日本の現代音楽をニューヨークを中心に世界各地へ積極的に紹介。昭和61年、福島女子短期大学教授就任。平成8年、福島女子短期大学学長就任(平成13年3月まで※現福島学院大学)、文部科学省大学設置審議会音楽専門委員会(主査)、文部科学省中央教育審議会(中教審)芸術部門専門委員、大学評価・学位授与機構認証評価委員を歴任。現在、ミュージック・フロム・ジャパン理事長兼芸術監督、福島市音楽文化総合アドバイザー、音楽による福島まちづくり実行委員会委員長、雅の会・ふくしま会長、一般財団法人桜ヶ丘病院理事を兼務。

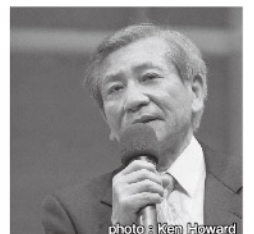


photo: Ken Howard